

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、18回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します(実動演習は10回目)。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

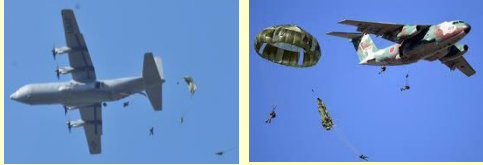
令和7年10月20日(月)から10月31日(金)までの間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

空挺作戦



水陸両用作戦



統合防空ミサイル防衛訓練



統合対艦攻撃訓練



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

その他関連する訓練

- 統合後方運用
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)の 福岡県における訓練について

本演習において福岡県内で実施する訓練は、

- ① 陸上作戦(協同基地警備訓練)
春日基地、築城基地、太刀洗通信所、背振山分屯基地
- ② 航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦攻撃訓練、滑走路被害復旧訓練)
築城基地、春日基地、芦屋基地
- ③ 統合通信訓練
福岡駐屯地、高良台演習場、藤山射撃場、大坂山
- ④ 統合後方運用(物資輸送訓練、医療訓練)
福岡空港、自衛隊福岡病院

を予定しています。

訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

福岡県で実施を検討している訓練内容

②航空作戦(滑走路被害復旧訓練)

陸・海・空自衛隊の部隊が芦屋基地に展開し、滑走路被害復旧訓練を実施します。
なお、爆破薬を使用した訓練は実施しません。

【期 間】令和7年10月20日(月)～10月24日(金) ※夜間訓練は実施しません。

【参加部隊】陸上自衛隊:第4施設団約30名、第4施設大隊約30名

海上自衛隊:岩国航空基地隊約5名、鹿屋航空基地隊約10名、機動施設隊約5名

航空自衛隊:西部航空施設隊約60名

【使用器材】車両、建設器材等×計約30両

訓練予定場所



訓練イメージ

